

1. 委員長挨拶

このたび、奈良教育大学において研究に関する外部評価委員会が立ち上げられ、この委員会の委員長を拝命いたしました。まず、本委員会の趣旨を簡単に述べておきます。

奈良教育大学では、法人発足時の第1期中期計画において、研究の成果と水準を検証するための具体的方策として、外部評価の実施が掲げられました。その時点では、奈良教育大学のみならず、全ての国立大学において、平成20年度に行われた独立行政法人大学評価・学位授与機構（以下、機構と記述）による暫定評価は想定されていませんでした。そこで、奈良教育大学では、機構が実施した達成状況評価と現状分析について、それぞれの研究の評価方法・範囲・内容等を勘案し、改めて、第1期中期目標の趣旨と教育大学としての使命に沿って、独自に外部評価を実施することが構想されました。

以上の経過を踏まえて、本委員会での外部評価の対象は、法人発足以降に行われた学長裁量経費に基づくプロジェクト研究とされました。もとより、このプロジェクト研究は、第1期中期計画の趣旨と大学の使命を踏まえて展開されており、その特色ある研究の成果を外部評価を通して、さらに推進することが考えられました。

このように構想された外部評価委員会の趣旨を踏まえて、委員会を次のように進めました。学長裁量経費に基づくプロジェクト研究の中から学長が選定された六つのテーマ（9プロジェクト研究で構成される）について、本委員会の各委員に事前に送付された関連資料を各委員が査読・吟味しました。

- ① 平成22年3月30日（火）に奈良教育大学で開催された外部評価委員会において、上記の六つの研究について、それぞれの代表者による発表を行い、発表後に質疑応答の機会をもちました。
- ② 六つの研究発表ならびに質疑応答の後に、外部評価委員会1として、各プロジェクト研究に対する評価を行いました。
- ③ 外部評価委員会2では、「卓越した水準にある（SS）業績」（第1期中期目標期間の評価結果の確定のために機構宛に提出。平成22年6月末提出期限）の候補業績の評価を行いました。この提出は大学として学長の判断に委ねられていますので、本委員会では、書面審査を経て、当該の候補業績について参考意見を出すことにとどめました。

外部評価委員会委員一同は、外部評価委員会を立ち上げられた奈良教育大学の自主性・自律性ととも、SS業績提出の是非を判断する上で出来るだけ客観的な意見を求めようとされる学長の姿勢を高く評価しました。

以上、本外部評価委員会では、奈良教育大学の真摯な研究活動を知り、さらなる進展を期待して忌憚のない意見や提言を述べさせていただきました。これらを参考とされて、奈良教育大学での研究がさらに発展されれば、望外の喜びです。

平成22年3月

国立大学法人奈良教育大学 外部評価委員会

委員長 木下百合子

